

2023. 7 月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

「直感と意欲の“信頼関係”」

はや7月、夏の暑さが体に堪える頃です。今年の「土用の丑」は30日、それを待たず〈滋養〉のよいものを食べて、元気をつけたいところです。

さて、『A | 実用元年、際立つ〈あなたならでは〉の想い、チャレンジ』の7月は、先月に続けて、“信頼関係”の具体的なアプローチについて考えます。題して、「直感と意欲の“信頼関係”」です。公私ともにたくさんの人と出会いながらも、「相手の（自分に対する感情までも含めた意味での）人間性ゆえに」（山岸俊男）信頼できて、かつ互いがそう思えて成り立つ信頼関係。

事例。「弟さんの事故、聞きました。何かできることがあったら遠慮なく連絡してください」。きょうだいの緊急事態に仕事相手先での会議を欠席したAさんに、その夜届いたBさんからのメールです。Bさんは仕事相手先のトップ、スタッフからAさんの欠席理由を知らされ、少し落ち着いた頃を見計らい、夜の連絡になりました。

双方はこの時点で8年の仕事関係でした。それなりに信頼関係はできていると感じていたAさん、Bさんからのこのメールを見て、確かな信頼関係を実感しました。そして“本当にいい人だ…”としみじみ感じたといいます。何事もイレギュラーな時ほど真価がみえるものです。

そもその出会いは何気ないものでした。Aさんが主宰した小さな勉強会に知人の誘いで参加したBさんが、Aさんに直感した“この人は…”。言語化するのは難しいとのことですが、Bさんの観察眼に合うものがあったということでしょう。Bさんの経験則からすると、瞬間的にそう感じられる人は少ない。だからAさんに関心をもったのです。

勉強会の帰りにAさんから「いつでもまたお茶しにでも来てください」と言われたのも手伝って、数日後、BさんはAさんを訪ねて話をしてみよう、そう思い立ち、Aさんに連絡。ここでもしAさんが拒否反応を示したなら長年のつきあいにはならなかったでしょう。知人の知人だからではなく、Aさんもまた、ごく自然にBさんの来所をうけいれることができた。Bさんが醸し出す雰囲気そうさせたのです。

2時間ほどの語らいで、Bさんは自分の直感が合っていることを確認し、Aさんは“話の通じる人だなあ…”と思い、今では8年をゆうに超えるつきあいになり、その間にも苦境に立ったBさんにAさんが「これは誰にも言っていないことですが…」と綴って送った文章に、BさんはAさんへの信頼感をいっそう深めたそうです。信頼関係に歴史あり、コミュニケーションあり。

“信頼関係”の要件、あるいは〈真相〉というのは、まず出会いの始まりにあるのではないのでしょうか。双方がともに、あるいは一方が相手に、善人でなくても悪人ではなさそうな印象、共感し合えそうな感じ、そして相手のアイデンティティのようなものが言動から見てとれて、関心・興味をもつ。するとコミュニケーションの意欲がわいてくる。相手の反応は気になりつつ、「リスク回避」をせずに、アプローチする。それに相手が呼応しなければ、それまでのこと。信頼関係は一方だけでは成り立ちませんから、前向きに諦める潔さが必要です。

あっという間に紙面を使いきました。“信頼関係”について考えることはたくさんありますが、また別の機会にゆずるとして、「女性チャレンジ応援拠点」では、大きくまた変化するこれからの社会の中で、みなさんのよりよいチャレンジの実践を後押ししていきます。ご利用をスタッフ一同おまちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
電話 & ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

